

2024 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

2024 事業年度の各事業は、2024 年 3 月開催の理事会、評議員会において承認された事業計画に基づきほぼ計画通り実施しました。

2024 年

- 4 月 25 日 ・2023 事業年度分 会計監査終了
- 5 月 22 日 ・2023 事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」をヤマザキマザックマニュファクチャリング(株)美濃加茂製作所にて実施。
- 23 日 ・2023 事業年度 研究助成金, 優秀論文賞副賞払込み完了
- 27 日 ・第 43 回理事会(書面)開催
- 6 月 11 日 ・第 26 回定時評議員会, 第 44 回通常理事会を六本木ヒルズクラブにて合同開催
- 21 日 ・内閣府へ定期提出書類(事業報告)提出
- 27 日 ・名古屋法務局へ評議員変更登記
- 9 月 1 日 ・2024 事業年度 研究助成, 論文表彰募集開始
- 10 月 24 日 ・第 45 回通常理事会を書面にて開催
- 11 月 30 日 ・2024 事業年度 応募の締め切り
研究助成申請 45 件
論文表彰申請 25 件
国際会議助成申請 8 件

2025 年

- 2 月 6 日 ・審査委員会開催
研究助成候補 21 件
論文表彰候補 18 件
国際会議助成候補 3 件 選定
- 3 月 10 日 ・第 46 回理事会(書面)開催
- 21 日 ・第 27 回評議員会(書面)開催
- 24 日 ・内閣府へ定期提出書類(事業計画・収支予算)提出

2. 前年度（2023 事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 18 件のうちの下記 18 件について研究成果の報告を受け、冊子にまとめました。

1	名古屋大学	李 炅耆	サーボ情報による工具－工作物間接触検知を利用した工作機械の幾何誤差同定方法の提案
2	京都大学	河野 大輔	接触面の動特性を考慮した工作機械の振動モデル構築に関する研究
3	東京大学	本山 央人	X 線高速撮像技術に立脚したワイヤ放電加工の高精度シミュレーションの開発
4	神戸大学	西田 勇	有機的形状の加工における旋削加工およびミリング加工を融合した自動工程設計
5	日本大学	市原 稔紀	連続炭素繊維強化プラスチック最適 3 次元ラティス構造を生成する 3D プリント軌道計画
6	岡山大学	岡田 晃	ワイヤ放電加工における加工粉排出最適化に関する研究
7	東京大学	福井 類	モジュール分割型生産システムにおける主構造の変化に柔軟に適応するロボット動作生成手法
8	公立小松大学	朴 亨原	セラミックス対超硬工具による Ti-6Al-4V 合金の高速切削中の切削面冶金現象の解明
9	電気通信大学	永松 秀朗	ステンレス鋼基材へのアルミニウム合金多層摩擦肉盛
10	Oregon State University	Burak Sencer	慣性ダンパーと機械学習を用いた CNC 工作機械の生産性最大化
11	慶応義塾大学	Beaucamp Anthony	準抛メカニズムと非ニュートン流体による研磨システムの特性
12	韓国生産技術研究院	南 秀鉉	実用性・安定性を考慮した主軸回転速度変動プロファイルの最適化
13	工学院大学	武沢 英樹	薄板電極を用いた底面切り出し高速放電加工
14	長岡技術科学大学	明田川 正人	レーザ干渉計を用いたピコメートル変位計測制御装置の開発
15	摂南大学	南 久	焼結ダイヤモンド砥石の高精度ツルレーング技術の開発
16	新潟大学	平尾 篤利	非接触動力伝達機構を用いた高応答折損回避加工機の開発
17	福井大学	岡田 将人	ファインセラミックスの実用的直彫り加工の促進のためのダイヤモンドコーテッド超硬工具の効率的活用手法の確立
18	芝浦工業大学	澤 武一	正面フライス加工のツールパス境界に生じる段差抑制に関する研究
19	東京工業大学	田島 真吾	5 軸制御工作機械の特異点近傍における工具経路のブロック分割
20	岡山大学	児玉 紘幸	ボールエンドミル摩耗状態の判断を的確に支援するシステム構築
21	茨城大学	金子 和暉	切削加工におけるデジタルツインによる工具状態監視システム－ボールエンドミル加工への拡張－
22	東京電機大学	遠藤 正樹	レーザー加工の高精度・高効率化に向けたアシストガス噴出の最適圧力と最適位置
23	埼玉大学	辻 俊明	音の機械学習に基づく自動研磨

3. 2024 事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第 4 条（1）に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び 大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

2024 事業年度は、研究助成応募 45 件、国際会議助成応募 8 件であり、いずれも 2025 年 2 月 6 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 10 日の理事会にて承認を得て、研究助成 21 件、国際会議助成 3 件を決定しました。

※ 助成・表彰実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

4. 2024 事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第 4 条（2）に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

2024 事業年度は、応募件数は 25 件で、2025 年 2 月 6 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 10 日の理事会にて承認を得て、1 件の優秀論文特別賞を含む 18 件の優秀論文賞を選定しました。

※ 助成・表彰実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。